



バナナ園
グループ

2019年1月号

Monthly

January

BANANANEWS

EAST

ホームページにも情報満載!

バナナ園



賀正 2019

田園調布学園大学 学生委員長・副委員長に伺いました

2019 ミニたまゆり開催決定!

バナナ園グループも参加させていただきます!!

みなさん川崎市麻生区の田園調布学園大学で毎年行われる「子どもがつくる町 ミニたまゆり」をご存知ですか?今年で14回目を迎える地域の子も達が主役のこのイベント、ご存知の方も多いと思います。今回は田園調布学園大学のイベント学生委員長の望月樹(たつき)さん、副委員長の志村曜(ひかり)さん、土屋愛(まな)さんにお話を伺いました。インタビューは当社スタッフで田園調布学園大学のOG川内久美さんです。

川内: 大学OGで今はバナナ園グループのスタッフの川内です、在学中から「ミニたまゆり」は大人気のイベントでした。でも、年を経るごとに進化・成長していますね。まずはイベントの概要・目的から聞かせて下さい。

志村: 地域の子も達と共に学園内に仮想の町をつくり、そこで子ども達が働いたり、お金を稼いだり、そのお金で税金を払ったり遊んだりする体験・参加型のイベントです。町には市役所や警察、病院や介護施設、更にレストランやゲームセンター等が用意され、子ども達はそこで働き給料(この国だけで使える仮想通貨「ユリ」)をもらい、税金を払います、余ったお金で買物や食事、ゲーム等を楽しむことができます。町づくりとともに様々な職業、お金の大切さや社会の仕組みを体験しながら学びます。

川内: HPやパンフレットを拝見すると私が学んでいた頃(2008年卒業)からは随分と進化したようでビックリしています。さてこの「ミニたまゆり」どのようなきっかけで始まったのでしょうか?

望月: 2005年に酒井教授のゼミナール活動の一環でその年の学園祭より、ドイツのミュンヘン市で開催されていた「ミニ・ミュンヘン」の活動に触発され、開始しました。私たちがよく利用する新百合ヶ丘駅とたまプラーザ駅の「ゆり」と「たま」に「ミニ・ミュンヘン」の「ミニ」を付けて「ミニたまゆり」になりました。年々規模が膨らむと同時に市内の様々な団体・法人さんの協力や川崎市教育委員会との連携事業に進化し、3000人以上の来場者を集めるイベントに成長しました。学内で行われる2日間以外にも本番に向けて子どもたちが準備を行う「子ども会議」や神奈川県との協働事業の「かながわ子ども合衆国」、地元の団体と協力して実施する「プレ・ミニたまゆり」等を開催し、行政や他団体と連携で行っているイベントも盛んになっています。私も高校生の時から「高校生ミニたまゆりボラティア」として参加しており、イベントに関わりたくてこの学校に入学しました。

川内: 「子ども会議」「子ども合衆国」? 本番以外にも様々な活動があるのですか?

土屋: そうなのです!! 2月に開催される「ミニたまゆり」の本番に向けて前年の10月から月1回のペースで子どもたちを大学に招き「子ども会議」を開催、2月の本番に向け企画を練ったり、イベントに必要なグッズの作成やオープニング・パフォーマンスのミュージカルの練習の他、町の規則作りや市長選挙も行います。子どもたちが主体的にアイデアを出し、私たちは子供たちの夢の実現をお手伝いします。一方、田園調布学園大学を運営事務局とし、神奈川県全域にこの「キッズタウン」を普及させるための取り組みを行っています。現在、12の「キッズタウン」と連携を行い、互いに協力し合う共同体(かながわ子ども合衆国)を組織し、各キッズタウンの代表から大統領を選出したり、国旗や国歌、レンタル紙幣等を作成したりなど様々な活動を行っています。

川内: どんどん規模が大きくなりますね!! さて、さて今年の「ミニたまゆり」のスケジュール、そして参加方法は?

望月: 本番は2月の10日(日)11日(月・祝)の二日間、時間は午前10時~16時、場所は勿論田園調布学園大学です。例年大変多くのお子さんたちに参加していただきますが、今回も事前予約制とし、ネットからの申し込み、両日とも各600人のお子さんたちの参加とさせていただきます。詳細は田園調布学園大学 地域交流センターまでお問合せください。今回はバナナ園グループも是非参加してくださいね!!

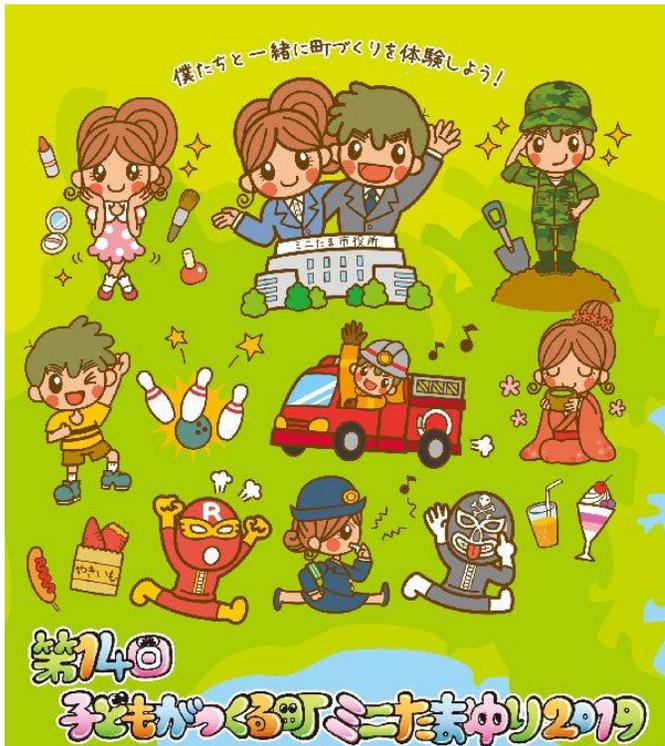
川内: わかりました!! 企業参加を申し込みました、一生懸命やりますので期待して下さいね。



レストランで働くキッズたち、お給料はミニたまゆりで使える「ユリ」で貰える。税金を払い残った「ユリ」で食べたり、遊んだり、今年からは「ユリ」で貯金も出来る仕組みが取り入れられた。



オープニング&エンディング・パフォーマンスのミュージカルの練習をするキッズたち。この他にも劇団「ミニたまゆり」の活動や「子ども会議」や「子ども市長選挙」の実施。更に県内のキッズタウンとの連携による「かながわ子供合衆国」の組織「大統領選挙」の実施等、年々本番以外の周辺イベントも盛んになってきている。



田園調布学園大学の頼もしい後輩たちから説明を受けるOGで当社社員の川内(左)



左より当社の川内(OG)、土屋さん(副委員長)、望月さん(委員長)、志村さん(副委員長)

■お問い合わせ先: 田園調布学園大学 地域交流センター
TEL: 044 (966) 2780 携帯電話: 080 (3214) 8131
E-MAIL: c-center@dcu.ac.jp ホームページ: <http://minitama.jp>
※担当者不在でお電話に出られない場合がございます。
■開催場所: 〒215-8542 神奈川県川崎市麻生区東百合丘3-4-1 田園調布学園大学
■対象年齢: 5歳~15歳(小学生未満のお子様は保護者の付き添いが必要となります。)
■募集定員: 各日600名 ■参加費用: 1日500円
■開催日時: 2019年2月10日(日)・11日(月・祝)10:00~16:00

川崎市中原区のグループホーム「バナナ園ほりうち家」より ラーメンで祝うお誕生日!!

ともするとマン初化しがちなグループホームの生活に如何に非日常を演出するかは施設スタッフにとっては永遠のテーマ。四季おりおりの行事や外出を伴うレクリエーションならともかく、ほぼ毎月のように開催される「お誕生日会」などはマン初化の最右翼、外すことの出来ない「お誕生日会」は日本中の老人ホームのスタッフにとって頭の痛いイベントです。川崎市中原区のグループホーム「バナナ園ほりうち家」でも事情は同じ。ちらし寿司にケーキはお誕生日の定番ですが、11月にお誕生日を迎えるS様に「ちらし寿司?それともピッツァ?」とお尋ねすると、答えは何と「ラーメン!!」。ラーメン通入居者様のT様は「私が作るわよ任せよ!ずっと作ってきたのだから。Sさん一緒に作ろう。」「大丈夫かしら?私作ったことないわよ。インスタントなら作れるけど。」「大丈夫大丈夫、私が教えてあげるから。」「うんと美味しいのを作ろう!」と、盛り上がること、盛り上がること。ご入居者のT様は、調理のお仕事に長年従事なさってきたので、料理の腕前は別格!S様とは日頃から仲良しで、お二人でコンビを組んでキッチンに立たれることも多く、息の合ったお二人です。お二人の提案で「ちょっと豪華にチャーシューとたっぷり野菜のラーメンを作る事になりました。T様のレシピ通りの素材を手分けして揃えました。翌日は朝から本格ラーメン作りです。T様の指示で鶏がら、長袖、ニンニク、ショウガ、更に煮干と昆布をコトコト煮込みスープを作ります。スタッフ、ご入居者が協力して皮をむいたり、下茹でしたり、更に何度も何度も灰汁をすくい、透明なスープに仕上げます。これこそがT様流スープ!出来上がったのは朝から煮込んでお昼すぎです。チャーシューは残念ながら市販の購入したものを、少し、T様流に味付けして仕上げました。その焼豚にも味がしみこみトロトロな豚バラチャーシューに変身していい味に仕上がりました。麺は「〇〇の麺が良いのよ。」とリクエストがあったのですが、入手出来ず、代わりの麺でご容赦頂き、後は料理の腕前でごさつと炒めた野菜炒めと特製チャーシューをたっぷりのせてT様監修「祝S様お誕生日おめでとうラーメン」の出来上がり、働きづくめで皆お腹はペコペコ。ただ茹でたてのラーメンを皆で食べれば誠に幸せ。お誕生日会の主役のS様「お店で食べるみたいに美味しいラーメンね!」すかさずT様「この味なら、どこにだって出せるラーメンよ!!」「それにこれだけ働けば何を食べても美味しいわ!」ラーメンへの愛情(?)は、皆様方並大抵のものではなく、「〇〇で食べたラーメンは絶品だったわ。」「××にあったラーメン屋さん、本当においしかったのよねえ。」「もう一度△△のラーメン食べに行きたいな。」等々、さすがラーメン大好き日本人。皆さまには尽きないようで、お喋りの花が咲き誇りました。「今度は、チャーシューから作ろうね。Sさん。」「そうね。作りたいけどできるかしら?」「大丈夫。私が教えてあげるから!一緒にみんなでまた作ろう!!」毎月一回は、お誕生日会やお楽しみ会として、ご入居者様のご希望を叶えようと、スタッフと入居者様一緒に楽しんで料理で盛り上がりていきたいバナナ園ほりうち家です。



ラーメンの湯切り麺上げもお手の物!!コレがバナナ園ほりうち家特製ラーメン、勿論ウマ、チャーシュートロロ。



みんなで作った美味しい本格中華の出来上がり!



ケーキを前にして喜び爆発!今日が誕生日であることは忘れていました(笑)!みんなで揃ってお誕生日会スタート!!

バナナ園グループで働きステップ・アップをしませんか? 介護スタッフ募集中

★介護は7イェイ~未経験だからこそその7イェイが必要です!

■募集要項

★職種:ケア・スタッフ<①正社員/②非常勤職員>★無資格・未経験からスタート/年齢不問

★給与:① 月給:193,000円~<夜勤5日含む>

② 時給1020<無資格>~1170円<介護福祉士>処遇改善加算交付金
※夜勤1回15,000~16,000円

★時間:9:00~17:00 17:00~翌9:00

★待遇:社保・有休・交通費規定内支給:月額50,000円迄

★勤務場所:当社各施設10箇所の中から通勤しやすい場所を選べます。

●問合せ:(株)アイ・ディ・エス 採用担当まで

☎044-455-6117

2019年3月新卒社員募集中

会社説明会随時開催中

エントリーはこちらから→



川崎市中原区のグループホーム「のんびりーす」より なんでも一緒に寄り添って!!

川崎市中原区のグループホーム「のんびりーす」は多くのクマツシヨンの建設で急激に発展する同区の中心地、武蔵小杉の近く「木月」にあります。ツシヨンや一戸建て、また古くからの商店街がある、まさに「住宅街」に立地する高齢者施設です。増えつつある郊外のグループホームとはちがひ、街や地域に溶け込んだ「小さな老人ホーム」、施設近くに矢上川や公園があり、お天気の良い日には、入居者様とスタッフが川に沿って散歩したり、近くのスーパーマーケットと一緒に買い物に行ったりと、グループホーム本来の生活が可能な施設です。どうしても定例化しがちな施設での生活の中でイベントの企画・実施は皆様の生活に花を添えるだけではなくフジカ面、メンタル面にとっても重要ですが、この「散策」が皆様にとっての素晴らしいイベントになっています。春先には川沿いでお花見、夏になると川面に飛来する鳥たちのパードウツク...、近くの公園はいつも地元の子供達で賑わっており、子供たちの相手になったり、会話を楽しんだりされています。しかし師走に入り日々寒さが増してきたせいか、ご入居者様も段々と「散策」の頻度が減っており、早くも「春が待ち遠しいねえ」と話されています。そんなわけで12月はイベントとして、毎月実施している「お誕生日会」を入居者様のリクエストで共に料理を作りお祝いすることにしました。「お誕生日会」と言うと定番はちらし寿司にケーキですが、リクエストは「中華料理」です。皆で相談し、決まったメニューは「酢鶏」「肉団子」「中華スープ」。当日は朝からレシピをみながらお久しぶりの<嬉しい嬉しい外出>お買い物、施設に戻りさあ料理、となると「元主婦」たちが調理方法や味付けに「ああでもない、こうでもない~船頭多くして船山に登る」状態に。ようやくお料理が出来上がったのはお昼を少しまわった頃。この月は3名の方が「お誕生日会」の主役でしたが、手作り中華を食べ終わり、ケーキを召し上がる時に「今日は誰の誕生日?」とおっしゃる方も、ご自分の誕生日を覚えておらず、ケーキを出し「今日は●×さんのお誕生日ですすよ」と言われて「そうですか?」と納得される方も多いのです。入居者様の構成や環境によりグループホーム本来の『自立支援』も柔軟に解釈しなければなりません。今、私たちは月に数回ではありますが機会を見つけては『一緒に買い物に行き』、『一諸に作り』、『一諸に食べる』寄り添う介護を実施しています。お近くにお寄りの際は、是非「グループホームのんびりーす」へお立ち寄りください。

バナナ園グループ

【グループホーム】

- 川崎大師バナナ園 ☎044-280-2386 ●第2バナナ園 ☎044-587-1773
- バナナ園武蔵小杉 ☎044-863-7101 ●バナナ園ほりうち家 ☎044-722-5361
- のんびりーす等々力 ☎044-750-9203 ●のんびりーす ☎044-422-2295
- バナナ園生田ヒルズ ☎044-911-1599 ●バナナ園生田の社 ☎044-789-5691/5692
- バナナ園生田の泉 ☎044-789-5693 ●バナナ園横浜山手 ☎045-264-9634



グループホーム空室情報

空室情報、入居に関するお問い合わせは右記の各施設もしくは総合案内

044-455-6119



月刊 MONTHLY BANANA NEWS (毎月1日発行)
通算第169号 編集:株式会社アイ・ディ・エス
川崎市中原区新丸子町734-2 ☎044-455-6119
<HP> <http://www.bananaen.com/>